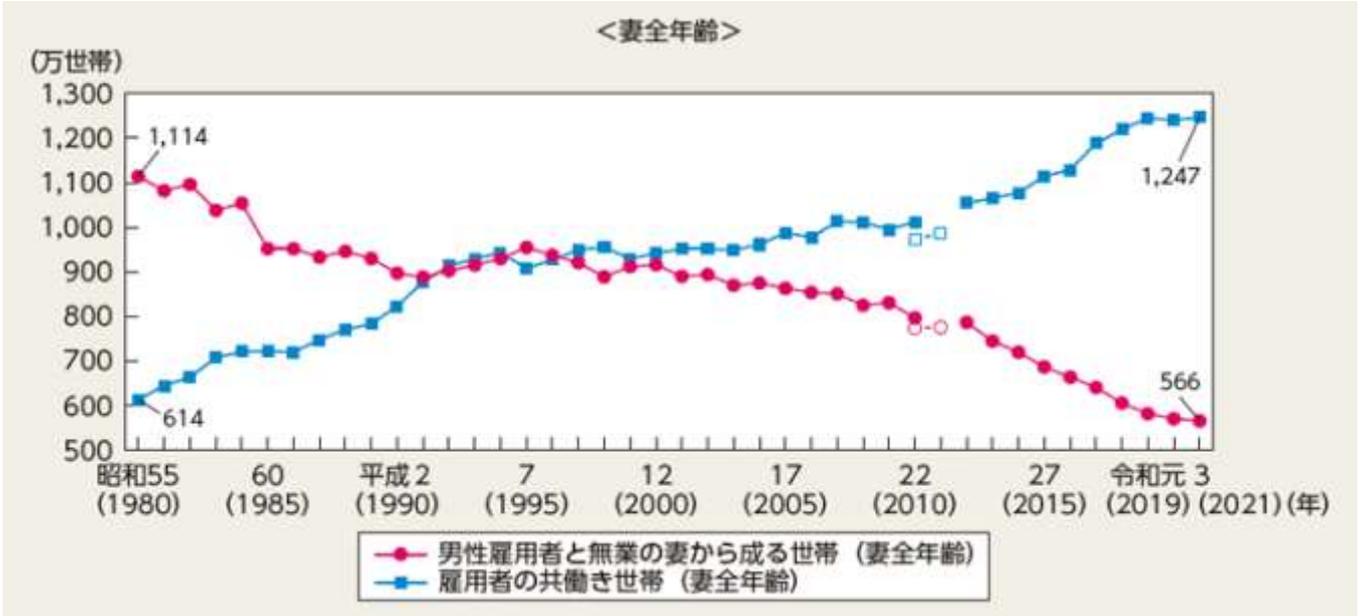
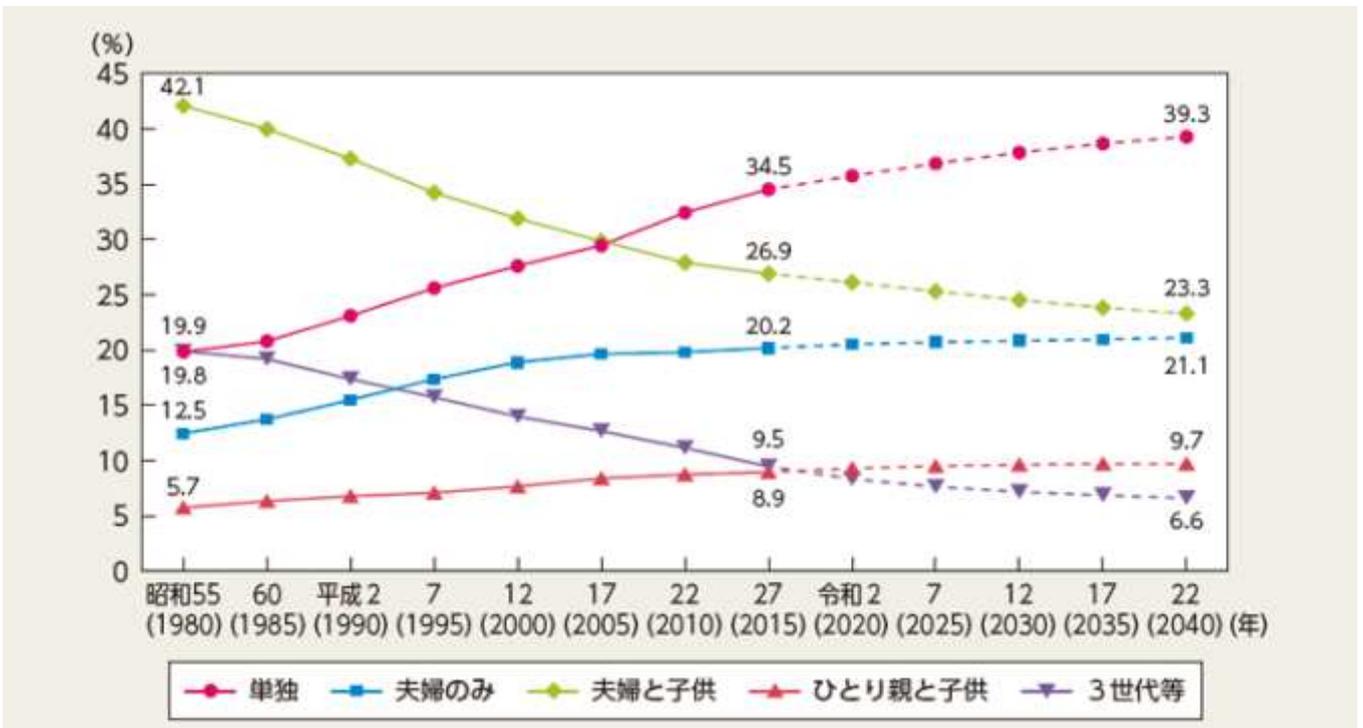


① 共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移（2-15図）



② 世帯の家族類型別構成割合の推移（特-6図）

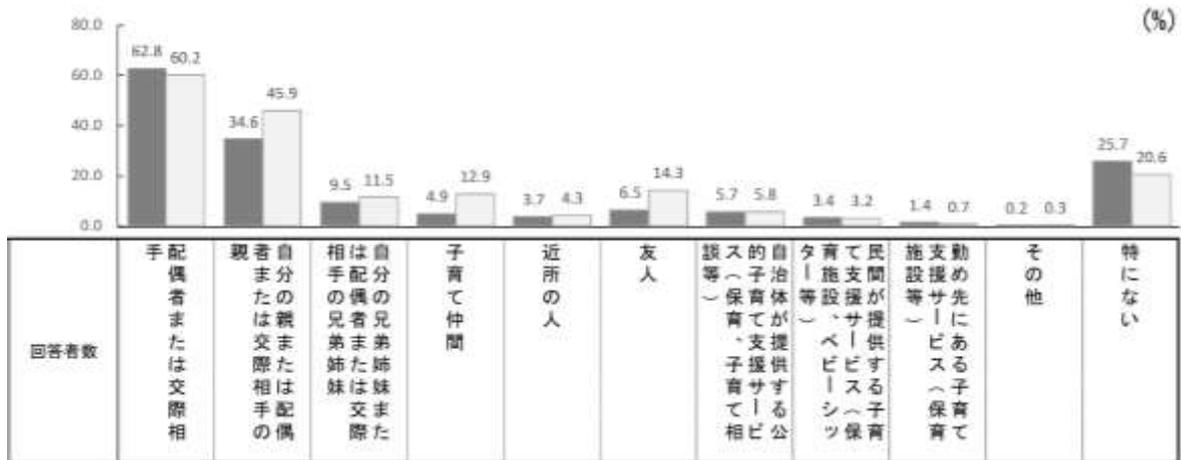


出典：『男女共同参画白書 令和4年版』より抜粋（内閣府／令和4年6月）  
[https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/whitepaper/r04/zentai/index.html#honpen](https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r04/zentai/index.html#honpen)

V-1

③ 「あなたには、次のような人・サービスはありますか。」  
 【あなたが子育てに対して感じる精神的・身体的負担について助けてくれる】  
 育児サポート状況【精神的・身体的負担への支援】（複数回答） （図表3-2-14）

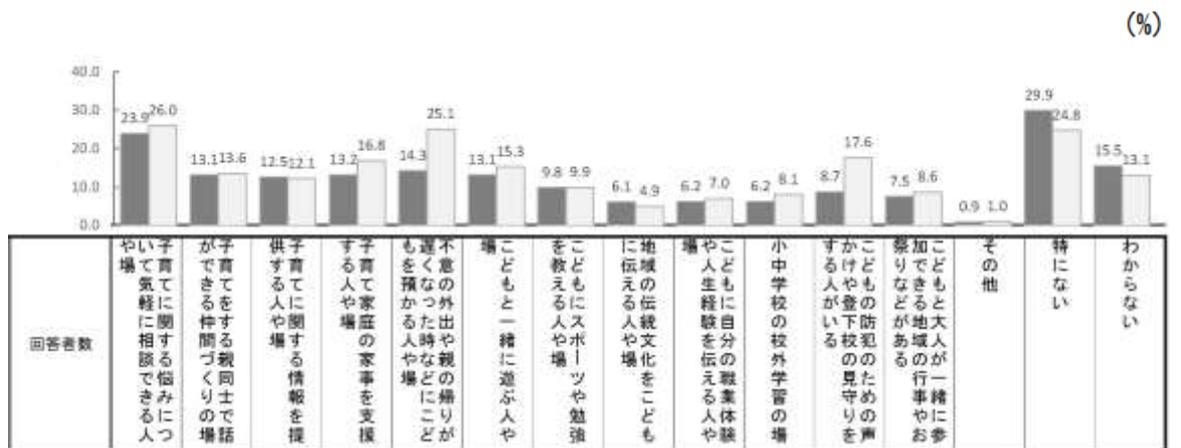
■ 男性 (n=1761)  
 □ 女性 (n=1913)



○「配偶者または交際相手」（61.3%）、「自分の親または配偶者または交際相手の親」（40.5%）との回答が高い。  
 ○男女別では、女性は、「友人」（14.3%）、「子育て仲間」（12.9%）との回答が男性よりも高い。

④ 「あなたは、地域で子育てをするために、どのようなことに困っていますか。」  
 【子育てにおける現在困っていることで特に重要なこと】  
 子育てにおける困りごと【特に重要なこと】（複数回答） （図表3-2-17）

■ 男性 (n=1761)  
 □ 女性 (n=1913)



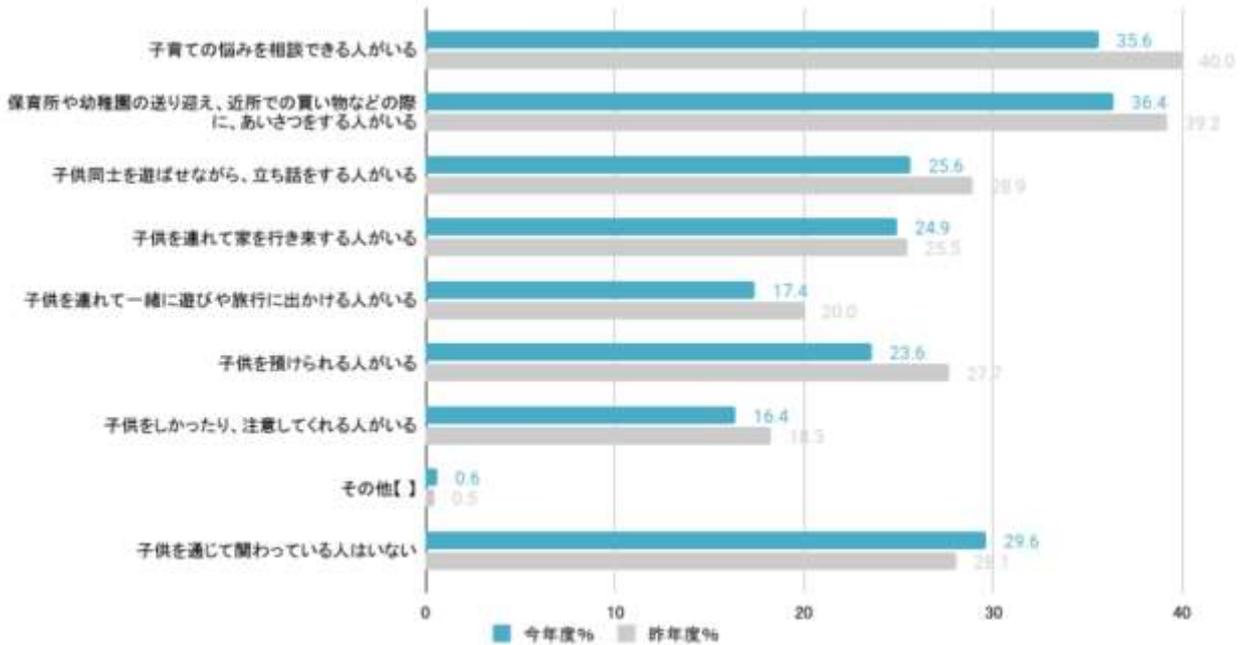
○全体では、3割弱が「特になし」と回答する一方、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場」との回答が25.0%と最も高い。  
 ○男女別では、男女とも、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場」との回答が2割台と最も高く、次いで、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場」との回答が高い。  
 ○男女末子年齢別では、末子年齢に関わらず、女性は、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいる」との回答が高く、特に小学校中学年の末子がいる女性は27.6%となっている。

出典：『令和5年度 子育て政策の推進に関する意識調査 報告書』より抜粋（子ども家庭庁/令和6年3月）  
<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-research/r05-ishikichosa>

## ⑤ 地域内における「子供を通じた付き合い」の状況（56 ページ）

⑳あなたが住まいの地域内における「子供を通じた付き合い」について、あてはまるものをすべてお答えください。（複数回答）

※スクリーニング調査において「現在子育て中で同居中の子供がいる」を選択した者を対象としている。



出典：『令和6年度「家庭教育支援推進のための調査研究(家庭教育についての保護者へのアンケート調査)」事業報告書』より抜粋  
(文部科学省/令和6年9月)

[https://www.mext.go.jp/content/20250130-mxt\\_chisui02-000038952\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20250130-mxt_chisui02-000038952_1.pdf)